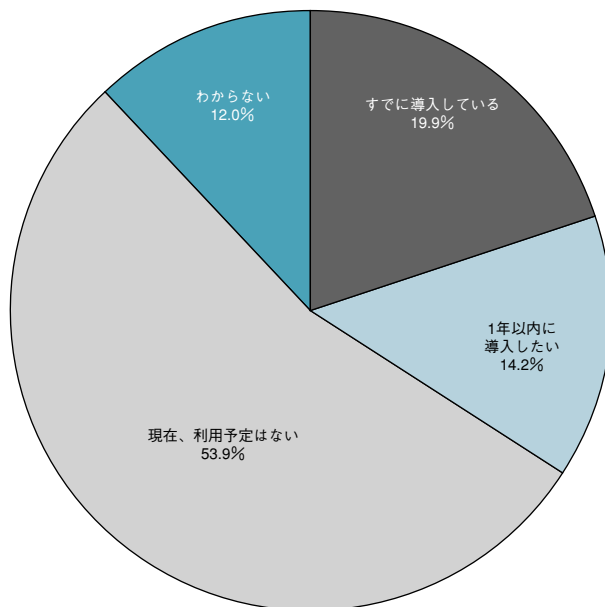


IP電話

IP電話は7割が様子見、3割は積極的

資料3-4-3 IP電話、インターネット電話の利用有無 N=1,798

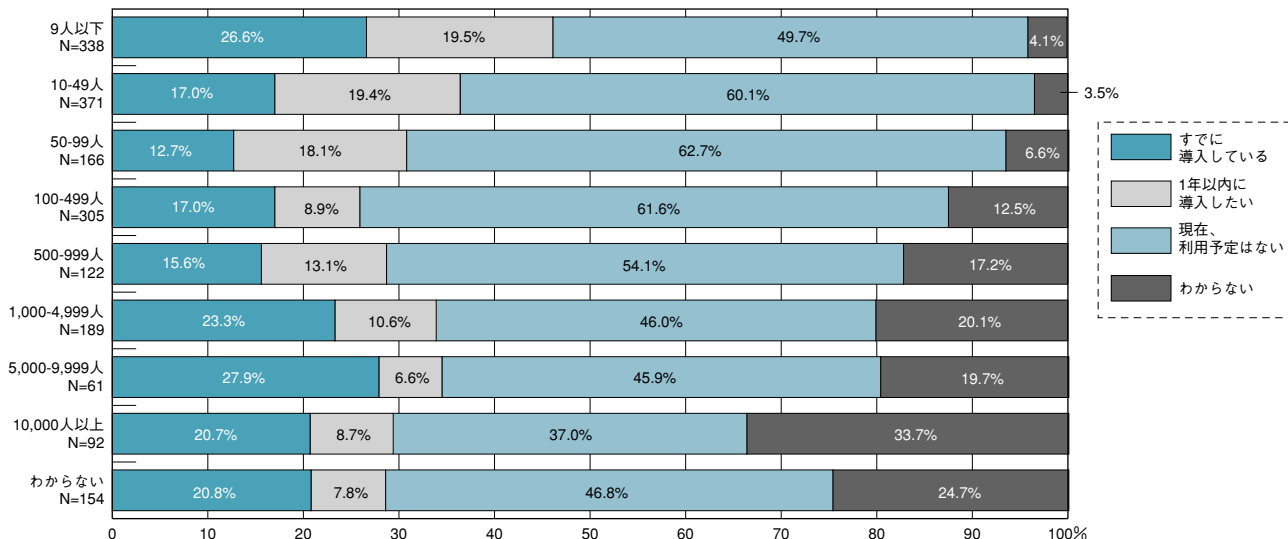


©Access Media/impress,2003

個人では急速にユーザーを増やしているIP電話だが、「現在、利用予定はない」が53.9%を占め、企業ではまだ様子見の段階。ただし、「すでに導入している」が19.9%、「1年以内に導入したい」が14.2%あり、導入に積極的な企業も3割を超える。

IP電話積極派は10人未満の小企業と1,000人以上の大企業

資料3-4-4 従業員規模別 IP電話、インターネット電話の利用有無



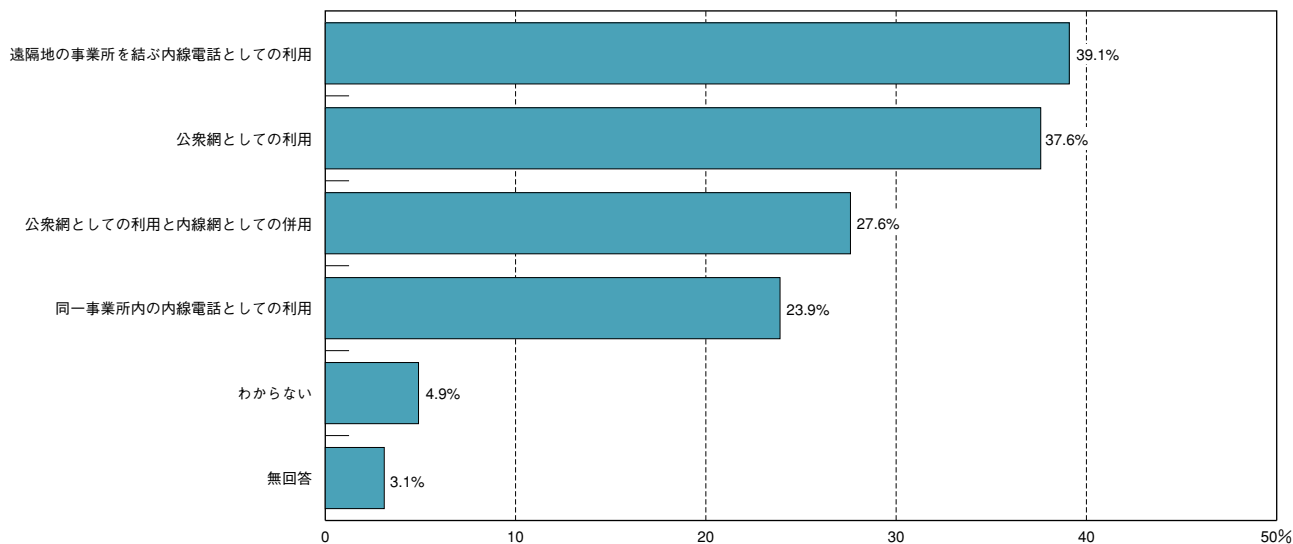
©Access Media/impress,2003

従業員規模別に導入状況を見ると、10人から999人という中間的な企業では10%台の導入実績だが、9人以下と1,000人以上の企業では20%台となり、導入の容易な小規模企業と、コストメリットが大きい大企業とがまず導入している状況がうかがえる。

IP電話

39.1%が事業所間の内線電話として利用

資料3-4-5 利用者・予定者に聞いた、IP電話、インターネット電話の活用形態 N=612



©Access Media/impress,2003

IP電話の活用形態では、「遠隔地の事業所を結ぶ内線電話としての利用」が39.1%でトップだが、2位の「公衆網としての利用」も37.6%と僅差。両者の併用も27.6%ある。

小企業では公衆網、大企業では内線電話が中心

資料3-4-6 従業員規模別 利用者・予定者に聞いた、IP電話、インターネット電話の活用形態

	従業員数	遠隔地の事業所を結ぶ内線電話としての利用	公衆網としての利用	公衆網としての利用と内線網としての併用	同一事業所内の内線電話としての利用	わからない	無回答
9人以下	N=156	19.2%	62.2%	24.4%	7.1%	2.6%	3.2%
10-49人	N=135	28.9%	45.9%	34.8%	16.3%	3.7%	1.5%
50-99人	N=51	51.0%	23.5%	31.4%	25.5%	3.9%	9.8%
100-499人	N=79	53.2%	29.1%	19.0%	34.2%	2.5%	1.3%
500-999人	N=35	51.4%	11.4%	22.9%	31.4%	11.4%	8.6%
1,000-4,999人	N=64	57.8%	18.8%	35.9%	37.5%	4.7%	1.6%
5,000-9,999人	N=21	47.6%	4.8%	47.6%	38.1%	4.8%	4.8%
10,000人以上	N=27	66.7%	18.5%	14.8%	51.9%	11.1%	0.0%
わからない	N=44	43.2%	31.8%	18.2%	36.4%	13.6%	2.3%

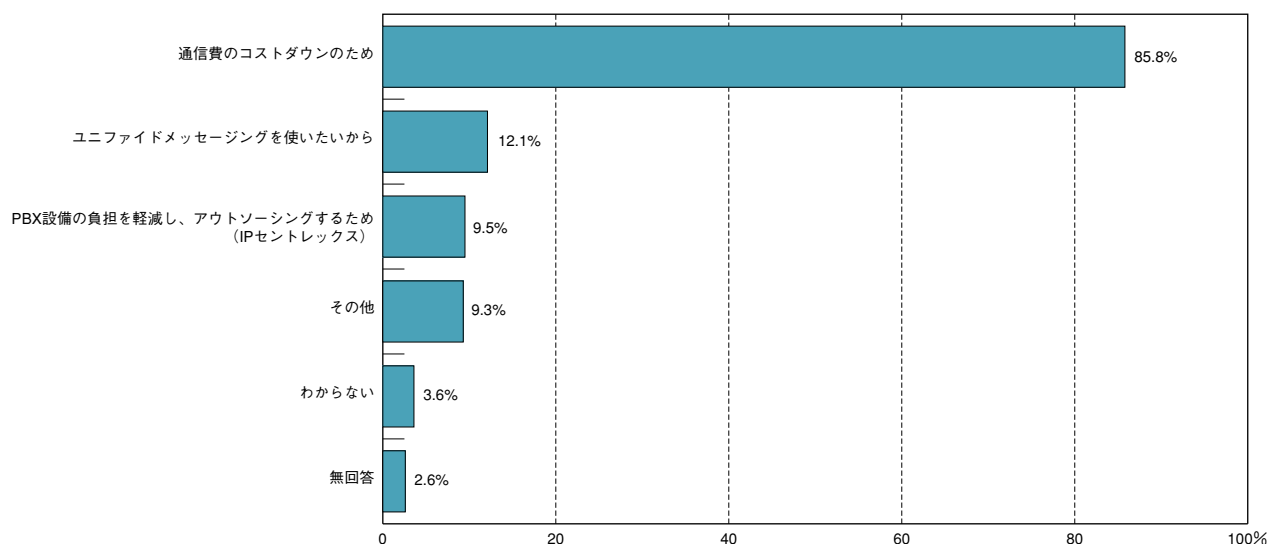
©Access Media/impress,2003

IP電話の活用形態を従業員規模別に見ると、50人未満の規模では公衆網としての利用が多いが、それ以上の規模では内線電話の用途が高まる。現時点では、まだ公衆網として全面的に採用するところまでは踏み切れないということだと考えられる。

IP電話

導入理由は「コストダウン」が圧倒的

資料3-4-7 利用者・予定者に聞いた、IP電話の導入理由 N=612



©Access Media/impress,2003

IP電話の導入理由は「通信費のコストダウンのため」が85.8%という高率を占め、電話料金削減のための手段としてIP電話が認知されていることがわかる。ユニファイドメッセージングなど新しい用途への期待はまだ本格化するにはいたっていない。

従業員規模にかかわらず、主目的は通信コストダウン

資料3-4-8 従業員規模別 利用者・予定者に聞いた、IP電話の導入理由

	通信費のコストダウンのため	ユニファイドメッセージングを使いたいから	PBX設備の負担を軽減し、アウトソーシングするため (IPセントレックス)	その他	わからない	無回答
9人以下 N=156	94.2%	10.9%	5.1%	4.5%	1.9%	0.0%
10-49人 N=135	87.4%	14.1%	11.1%	8.9%	1.5%	2.2%
50-99人 N=51	82.4%	17.6%	7.8%	13.7%	2.0%	7.8%
100-499人 N=79	84.8%	8.9%	6.3%	15.2%	0.0%	2.5%
500-999人 N=35	68.6%	8.6%	14.3%	20.0%	8.6%	5.7%
1,000-4,999人 N=64	87.5%	9.4%	15.6%	7.8%	7.8%	1.6%
5,000-9,999人 N=21	85.7%	14.3%	19.0%	9.5%	0.0%	4.8%
10,000人以上 N=27	74.1%	14.8%	7.4%	3.7%	14.8%	0.0%
わからない N=44	75.0%	13.6%	11.4%	9.1%	9.1%	6.8%

©Access Media/impress,2003

IP電話の導入理由を従業員規模別に見ても、圧倒的多数が「通信費のコストダウンのため」という点が共通している。従業員規模にかかわらず、まずは通信費削減のための手段としてIP電話が導入されているのは間違いない。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp